



ゆめクラブの現状と課題について

政進会 藤澤 菊枝



問 ゆめクラブの現状と課題についてお伺いします。

答 (市長) : ゆめクラブの活動は、今後、社会の高齢化が急速に進むと見込まれる中で、高齢者が住み慣れた地域で元気に暮らし続けるために、重要な役割を果たすものと考えています。現状は、加入者の高齢化や生活様式の多様化などから、会員数は減少傾向にあります。ゆめクラブには、自主的な活動に工夫を凝らしていくべき、それに対して市や社会福祉協議会が支援することで活動を盛り上げたいと考えています。

問 国民の5人に1人が75歳以上で、国の人口が減少している中、海老名市は人口が増えていますが、海老名市にも高齢化の波がやってきます。そこで将来に向けたゆめクラブの展望について伺います。

答 (保健福祉部長) : 高齢化の進展や世帯構造の変化に伴い、高齢者の一人暮らし世帯や高齢者のみの世帯が増加していく、人と人、人と社会のつながりが弱まることは、見守りや支援の増加につながっていきます。ゆめクラブだけでなく、自治会、社会福祉協議会などの社会福祉を行う団体が協力して、一体となって、高齢者の生きがい活動を支える体制づくりが必要になると考えています。

市としては、これから高齢社会を明るく健全で高齢者自身が楽しめるものとするため、元気な高齢者の集まりの場であるゆめクラブの新規会員の加入を促進する魅力ある自主的な活動に期待するとともに、市や社会福祉協議会の支援で後押しをして盛り上げていきたいと考えています。

- ・社会状況を見据えた消防力の強化について
- ・他の質問



高齢者の聞こえの支援について 公共施設の設備について

日本共産党 鈴木 さよ子

- ・学校給食費について
- ・小中学校の命の安全教育について
- ・他の質問



公共施設について

涼風の会 吉田 みな子

- ・職員定数について
- ・他の質問



海老名駅入口交差点方面へ延伸の予定

問 市が加齢性難聴者の困り感をどう捉えて、補聴器に限らず難聴の早期発見やヒアリングフレイル対策など必要な支援をどう考えているのか見解を伺います。

答 (保健福祉部次長) : 加齢性難聴については、フレイル予防事業として早期のスクリーニングなどを取り入れることや、社会全体への理解を深めるための広報やホームページなどでの周知を検討してまいります。

問 令和6年3月議会では、補聴器の利用が認知症の予防となるエビデンスが国から出ておらず、市独自の購入助成をしている中、本市でも補聴器購入助成を行なうことが高齢者の支援に有効だと考えますが、市の考え方を伺います。

答 (保健福祉部次長) : 补聴器は補聴効果について医師の判断と処方、専門家のフィッティングから作成後の装用訓練を経て、初めて快適な聴力の補完が期待できます。補聴器を必要とする高齢者がきちんと装用効果を得られるような周知や制度のあり方について、今後研究してまいります。

問 本郷、社家、下今泉の各コミセンのレクリエーション室にエアコンが未設置です。利用者から早く設置するよう要望がありますが、検討はされているのか伺います。また、今後大規模改修がなくても設置はされるのか伺います。

答 (市民協働部長) : 各館では暑い時期には冷風機やスポットクーラーを設置し、少しでも利用しやすい環境に配慮しています。エアコンの設置は、利用状況などを考慮し大規模改修とは別と考へて、今後検討を進めてまいります。

問 海老名駅自由通路の延伸整備についてお伺いします。

答 (市長) : 海老名駅自由通路の延伸整備は、文化ゾーンの文化交流拠点整備など大規模事業が動き始めています。学校整備や災害対応などさまざまなものに多くの費用がかかりしていく時代の中で、今後予定している公共施設整備にどのくらいの費用がかかるか、確定ではなくとも示していただきたいと思います。現在計画を進めている公共施設整備事業の件数と概算事業費が出ていれば伺います。

問 市長が6期目となり、海老名駅自由通路の延伸や文化ゾーンの文化交流拠点整備など大規模事業が動き始めています。学校整備や災害対応などさまざまなものに多くの費用がかかりしていく時代の中で、今後予定している公共施設整備にどのくらいの費用がかかるか、確定ではなくとも示していただきたいと思います。現在計画を進めている公共施設整備事業の件数と概算事業費が出ていれば伺います。

問 海老名駅自由通路の延伸整備では施設の合築による整備を計画しており、公共施設再編(適正化)計画に基づく事業として推進していきます。

答 (市長) : 文化ゾーンの第1期整備では施設の合築による整備を計画しており、公共施設再編(適正化)計画に基づく事業として推進していきます。

また、新たに整備する公共施設については、具体的な事業費が確定次第、議会にお示しします。(仮称)障がい者ケアセンター建設事業は、事業費が確定したため、本定例会に補正予算として提案いたしました。

問 海老名駅自由通路の延伸整備に向けた調査検討委託によって出している、現時点の概算事業費をお答えください。

答 (理事兼まちづくり部長) : 調査検討業務では、延伸する施設の規模や橋脚の位置の比較検討をする中で参考に概算事業費を出していますが、計画するルート上空の占用物や地下埋設物、隣接する土地への影響によって変わっていますので、ルートによる金額差を主眼に検討したものです。

橋脚を歩道上に落とす二つの案では約21~22億円、民有地を活用させてもらう案では約30億円という額ですが、具体的な事業費は、今後の詳細な調査により精度を上げることで変わるほか、施設配置、規模、構造や仕様、施工手順、夜間施工の有無などいろいろな要素で変わってきます。